

## 第15回MV勉強会 アンケート結果

## Q. 上野宗孝氏のご講演「月面からの重力波観測」に対し、ご感想やご意見があればご記入ください。

- 重力波観測は以前から月面における大きなアプリケーションとして期待されてきましたが、いよいよそれが実現に向けたロードマップに入ってきたことに感激を覚えています。重力波観測は日本がトップサイエンスを維持していく上でも非常に強力なテーマでもあり、実現を強く期待したいところですが、そのためにはその重要性をより広範に多くの人に訴えていく必要があると思います。
- かなり大掛かりになると感じた。もし、超伝導などで小型・高性能測定器が開発されれば、良いと思った。
- 月の低ノイズ環境がこのようなところでも活かされると言うことを改めて認識しました。このような別分野のサイエンスもサポートできるような観測が実現できるようにという思がますます高まりました。
- 重力波を利用した観測の現状を知ることができて、可能性を強く感じました。
- 興味深くうかがいました。今回のカバー範囲でないかもしれませんが、光学望遠鏡や他の種類の月面天文台の展望もきいてみたいと思います。
- 月面での建築技術の発展に良い刺激を与える事には同意できましたが、重力波観測はちょっと一般受けが厳しいとも感じました。スペースガードの文脈（月面の裏側で地球に飛来する隕石を監視すれば、太陽光の有無が際立つので小さな隕石をより遠くで捕捉し、対策を立てる時間を稼げる等）で語るのが一番わかりやすいかと。このような文脈で月面建設の必要を説き、隕石監視網に資する重力波観測を提案すれば、より多くの人を巻き込めるのではないかと。

## Q. 川村太一氏のご講演「月内部構造解明に向けた観測」に対し、ご感想やご意見があればご記入ください。

- 期待に違わない濃厚でかつ最新情報が豊富に含まれた内容でした。やはりデータが70年代のアポロ計画のものでとどまっているという点が大きなネックになっていることは90年代の私の研究の時代と変わっていません。月震計設置ミッションはおそらく日本だけではなく世界共同で進めていくことが必要になると思いますし、また有人であることの利点を活かせる(設置は自動化機械では難しい)という点でアルテミス計画と親和性が高いと思います。日本の科学ロードマップにも掲載されたこともあり、今後実現に向けての議論を加速させていければと思います。
- 人間活動が盛んになる前に、地殻の構造研究は是非進めるべきと思った。周回衛星からの、ペネトレーター(あるいは起爆物)落下により、色々な所から地震を起こしてみてはと思った。
- 月震のメカニズムなどを原理から教えていただき、本当に参考になりました。建設業に携わるものとして、建設地の与条件は非常に重要なファクターであり、精度の高い情報であるほど、精緻な設計に活かせるため、今後も情報展開をお願いいたします。
- アポロの地震計が観察できることに驚愕。地震計の設置位置等のご論が興味深かったです。
- 今後、隕石の月面衝突を震源として利用する検討も進めて下さい。衝突閃光の観測はオービターからがよいと思います。